

第2期明石文化芸術創生基本計画の策定について

1 趣旨

令和4年12月の生活文化常任委員会で報告いたしました「第2期明石文化芸術創生基本計画(素案)」につきまして、パブリックコメントを実施し、いただいたご意見を踏まえ、別紙のとおり計画としてまとめましたので報告いたします。

2 第2期明石文化芸術創生基本計画の概要

(1) 計画期間

2023年度(令和5年度)から2030年度(令和12年度)までの8年間

(2) 目指す姿

文化とアートでみんながつながるまち あかし

(3) 施策の展開方針

- ① 市民による文化芸術活動のさらなる充実
- ② 文化芸術活動充実のための環境整備
- ③ 文化交流の促進と連携体制の強化
- ④ 地域特有の文化資源の継承と発展
- ⑤ 次世代の育成

3 パブリックコメントの実施

(1) 実施期間 令和4年12月15日～令和5年1月14日

(2) 提出件数 20件(8人)

(3) 主な意見

- ・ 文化芸術事業は、明石文化国際創生財団だけでなく、様々な機関や団体等により進められており、これらのノウハウを共有する仕組み構築が必要である。
- ・ 若いアーティストの活動に対して様々なサポートが行われているが、今後更に充実して欲しい。
- ・ 既存施設はもとより、神社、公園、酒蔵等を活用した「文化の場づくり」を応援し、身近な場所での文化芸術との出会いと創出に期待したい。
- ・ 市民会館は老朽化が進んでおり、利便性の向上やバリアフリーの観点からも改修が必要ではないか。
- ・ 明石文化国際創生財団は、持っているネットワークを駆使し、地域で活動する団体のサポートやコーディネートを行うなど、良い取組である。

など

4 計画素案からの主な修正点

様々な機関や団体等が連携し、文化芸術に取り組むことは大変重要であることから、効果的な取組みが進められるよう、ノウハウを共有する仕組みの構築について18ページ「施策④」に追記しました。

また、修正点以外にも、若いアーティストへの活動支援、施設の有効活用や利便性の向上、中間支援組織の役割など、取組レベルでのご意見も多くいただいております。今後の施策展開に生かしてまいります。

5 今後の予定

本年3月末に計画を策定し、市ホームページへの掲載等により周知を行う予定です。